

# 平成22年度 全町自治会会長会議

町民の声を広く行政に反映させることを目的とした平成22年度全町自治会会長会議が11月26日、地域交流センターにおいて開催されました。会議には、各自治会代表15名、町からは町長、副町長、教育長、各課長等が出席して、意見交換等が実施されましたので、その概要をお知らせします。

町長の行政報告や自治会要望に対する意見交換等が、実施されました。主な意見交換の要旨は次のとおりです。

## 【町長行政報告（要旨）】

アメリカの金融危機に端を発した世界経済の不況は、国内経済に今なお、深刻な影響を及ぼしており、今後の産業・経済の展望は、非常に不透明な状況にあります。また、道内の企業も依然として厳しい環境におかれ、本町においても暮らしや経済への影響が懸念されているところがあります。

国は、このような経済状況下において、一昨年から矢継ぎ早に経済対策や生活対策を打ち出してまいります。本町もこれら国の対策に呼応して、公共事業の前倒し発注をはじめとした対策を実施し、地域の活性化に努め

てきたところであります。

特に新政権が掲げる「地域のこととは地域が責任を持つて決め、実行する」という地域主権構想については、内閣府に設置された地域主権戦略会議において、その具体策が検討、実施されておりですが、今後の議論の行方を注意深く見ていく必要があります。

本町の第5期総合計画の基本構想にある「自助」「共助」「公助」という補完性の原則を基本に、町民一人ひとりが積極的に参画し、共に考え、共に創るまちづくりを推進するため、これまで地域を支えてきた地域力を背景としたまちづくりを維持し、時代に即応した持続可能なまちづくりの展開を図ってまいります。

人々の価値観が多様化する今日、真の豊かさを実感できるまちづくりを進めるためには、私たち一人一人が地域を見つめ直し、誰もが笑顔で元氣な地域を

創り出すことが、まちづくりへつながっていくものと考えております。

地域の基盤はもちろん自治会であり、そこに活力があれば、様々な取組みが行われ、成果が現われてまいります。町民自らの創意工夫と主体性を発揮する自治会活動について支援するとともに、自治会連合会との一層の連携を図りながら地域づくり活動の活性化の促進に努めてまいります。

第5期雄武町総合計画は3年目を迎え、目指す将来像に向かって政策を着実に推進するため、行政評価制度を組み込んだ事務事業評価の実施により、事業ごとの優先度や緊急性等を十分に審議し、枠配分方式の予算編成に連動させてまいります。

なお、本年度「財政健全化法」に基づく財政健全化比率については、いずれも健全段階の数値を維持しておりますが、今後と

も中期的な展望に立つて健全で持続可能な財政運営に努めてまいります。

行政改革については、昭和61年に行政改革大綱を定めて以降、平成19年の第4次行政改革基本方針まで、それぞれの重点項目に基づき具体的な取組項目を掲げ、継続して行政改革の推進に努め、事務事業の民間移行、組織・機構の見直し、行政の情報化など一定の成果を挙げるとともに、職員の行政改革に対する意識改革も図られてきたところであります。

地方自治は「みんなでみんなの生活を守る」という認識のもとで、ますます多様化、高度化する町民ニーズに適切に対応した独自のまちづくりを可能とするため、一層業務の効率化を図り、財政基盤の強化のもと、事業の重点化等に有事断然を決心しながら、堅実かつ積極的に取り組んでまいります。



## 【意見交換】

町長の行政報告や自治会要望に対する意見交換等が、実施されました。主な意見交換の要旨は次のとおりです。

### Q 日の出北町自治会

札幌雄武会や東京雄武会等との交流事業は、町の活性化につながるから、積極的に取り組んでいただきたい。また、毎年同じ方が参加されているようですので、より多くの町民が参加できるように、周知を徹底し、参加者数によってはバス等を手配するなどの配慮を願いたい。

### A 町長

町民の方に対する案内を徹底し、一定数以上の人数になれば福祉バスを使用するなど、積極的な取組みをしていきたいと思っています。

### Q 旭町自治会

町道東浜線の拡幅整備については、現状では車道幅員の関係で無理であり、カーブの緩和策として、速度制限（40km→30km）やカーブミラーの設置により対処するということでありますが、速度制限については標識だけでは効果が薄いと思われるので、取締りも実施するということになるのでしょうか。また、カーブミラーの設置については、どのような考え方を持っているのか聞かせていただきたい。

### A 建設水道課長

速度制限にあたっては、標識は公安委員会で設置し、取締りは警察が行うこととなりますが、自治会の理解が得られれば警察も取締りの強化を図っていただけると思っております。また、カーブミラーの設置については、川の工事が終了後、ミラーの形状や設置箇所も含めて検討させていただきたいと思っております。

### Q 末広町2区自治会

歩行者専用道路である「みんなの路」については、統合保育所の完成により、利用者も増えてきていますが、カラー舗装部分については大変滑りやすくなっています。「道路」という位置付けであるならば、安全を守る施策が必要であり、また憩いの場としての活用も期待できることから、桜の木を植える等の措置をしていただきたい。

### A 町長

カラー舗装は見た目はきれいですが、滑りやすいという問題があります。最近では、みんなの路を健康維持のためにウォーキングで利用する方も増えていきます。安全面はもちろんのこと、より良い環境づくりに向け、逐次取り組んでいきたいと思っております。

### Q 本町自治会

郷土資料館の建設についての

考え方を聞かせていただきたい。

### A 町長

先人の功績を讃え、歴史的な資料を展示することは必要だと思いますが、それは、次の世代の人たちが先人の苦勞を肌で感じたりすることに意義がありますので、特別な場所を建設するのではなく、子どもたちが常に見られるような学校の空き教室等が最適かと考えております。

### Q 本町自治会

自治会の財政は非常に厳しく、独自の活動ができない状況にあります。自治会活動に対する町からの助成について検討していただきたい。

### A 町長

地方自治は「みんなでみんなの生活を守る」ということが基本でありまして、そういった意味で町の原点となるのは自治会であり、そこでできることはみんなで協力していかなければ、町というのは活性化していきません。そのため、自治会が実施する活動について、全て町から助成を行うとなると、将来に伸びていく町づくりにはなりません。しかし、本来行政が直接的に支援しなければならぬことを自治会で運営している場合には、行政側も自分の負担をしていく、という考えであります。

